

道徳学習指導案

日 時：平成 29 年 12 月 1 日（金）13:45～14:35

生 徒：札幌市立北都中学校 1 年

- 1 主 題 名 生命の尊重 D-生命の尊さ
[関連項目] B-思いやり、感謝
- 2 ねらい 自分の命の大切さと、その尊さを理解したうえで、自他の生命の尊重に努めようとする道徳的心情を育てる。
- 3 資料名 『決断！ 骨髄バンク移植第一号』（「明日をひらく」1年 東京書籍）引用

4 資料について

本資料は「骨髄バンク」設立時のドナー登録者の葛藤を描いた実話である。骨髄移植によって白血病患者の命を救うために、日本でも「骨髄バンク」の組織をつくり出そうとボランティアの会員たちが奮闘する中、一人のドナー登録者が、血液の適合を告げられた。恐怖、使命感、手術が近づく中、心は揺れた。そして、ついにその決断によって、日本初の骨髄バンク登録者による移植手術が成功する。数年後に出会った患者とドナーは、しっかりと手を握り合い、互いに感謝を込めて抱き合う。

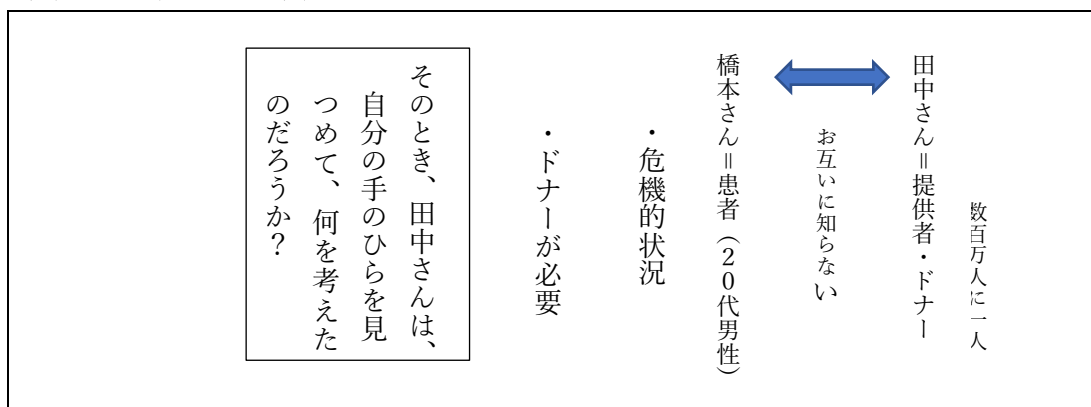
本文は、テレビ番組「プロジェクトX」を資料化したものであり、白血病患者の命を救うかけがえのない制度である骨髄バンクの設立と、日本初の移植手術を行ったドナーと患者のドラマである。

本時は、主人公が提供を決断するまでに心が揺れ動く理由について考え、それでも提供を決断した主人公の心の変容に気づかせたい。その上で、骨髄提供をできるかどうか自分自身に問いかけることで、生徒自身が「命の尊さ」に直面した時、どのように心が揺れ、行動に移すことができるのかを考えさせたい。そして、患者との出会いを通して、自他の生命の大切さを実感した主人公の心情を考える中、命の大切さやありがたさについて考え、自他の生命の尊重に努めようとする態度を育てたい。

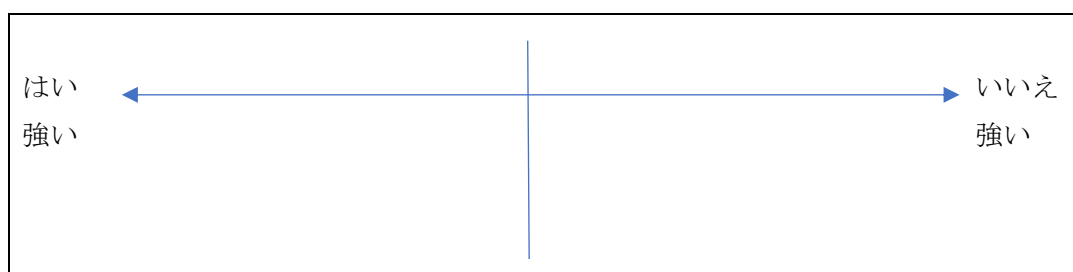
5 めざす生徒像

- 真理を愛し、創造的思考力をそなえる人間（考える）
- 責任を自覚し、自主・独立をめざす人間（やりぬく）
- 個性を尊重し、豊かな情操にみちた人間（たかめあう）
- ◎生命を尊重し、強じんな身体をもつ人間（きたえる）

6 板書計画 (メイン黒板)



(ホワイトボード) 「あなたは骨髄を提供してください」と言われたら、できますか。



7 展開

	学習内容	発問と生徒の活動	留意点
導入 8分	1 「骨髄バンク」について知る。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○白血病とは。(市川 團十郎の写真) ○骨髄とは。 ○骨髄バンクとは。 ○登録から提供までの流れ ○適合が困難。 ○移植時のリスク、手術方法。 	<ul style="list-style-type: none"> ・骨髄バンク (それに関わる病気、登録・提供、リスク、手術方法) について理解できるようにする。(PPで)
	2 骨髄提供について考える。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○「あなたは骨髄を提供してください」と言われたら、できますか。 ・はい ・いいえ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードに自分の名前が書かれたプレートを貼る。 ・2～3人に指名し、理由を言わせる。
	3 資料を読む。(3分)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師により範読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に音読させない。

展 開	4 あらすじを確認する。 (5分)	○登場人物 ○骨髄を提供後の田中さんの生活は。 ○検査が始まった時の田中さんの気持ちは。	・メイン黒板に板書。 ・全体に質問をしなが ら、確認する。 T T教諭板書
	5 田中さんの心情につ いて考える。(20分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 中心発問 田中さんは自分の手のひらを見つめ た。何を考えたのだろうか。 </div> ・断るなら、今しかない。 ・自分が他人の命を握っていること に気づき、その命を握りつぶすことは 自分には出来ない。 ・自分が提供することで、一人の命が 助かると思った。 ・自分の子どもの顔を思い出し、自分 の子どもの命も、提供する相手の命 も、どちらの命も同じように大事なも ので、助けなければならない。	・手のひらを見つめる 田中さんの絵をTV に写す。 ・個人で考える。 ・考える時間を取る。 ・個人で発表させる。
	6 骨髄提供について 考える。(4分)	○「あなたは骨髄を提供してくださ い」と言われたら、できますか。 ・はい ・いいえ ・自分の気持ちに変化がある人は移動を する。	・4人1グループで話 し合いをさせた後に、 自分の考えを発表。 ・自分が他人の命の運 命を握っているとい う事実を、問い返し発 問で補いながら捉え させる。 T T教諭板書 ・若干気持ちが変わっ た人でも移動をさせ る。
	7 残りの資料を読む。 (3分)	・教師により範読する。	・移動した人を指名 し、理由を聞く。 ・生徒に音読させな い。
終 末	8 授業を振り返って気 がついたことや感想をワ ークシートに書く。 (5分)	・授業の感想と自己評価を書く。	・自分の関わりの中で 学習を振り返らせた い。 ・2～3人指名し、発 表する。

8 本時の評価

- ・命の大切さと自他の生命尊重について考える発言や記述がある。